



INDEX

- ・高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について 1
- ・令和5年 鳥インフルエンザ経営再建保険の募集について 4
- ・『いいたまごの日』記念イベントを開催（11月5日） 6
- ・「いいたまごの日 ロゴマーク」をご活用ください 7
- ・鶏卵公正取引協議会からのお知らせ
 令和4年度「公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン」について 8
- ・統計データ 9
- ・協会活動報告 10

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

－ 岡山県・北海道と香川県の養鶏農場で相次ぎ鳥インフルエンザが発生

10月号の日鶏協ニュースで、高病原性鳥インフルエンザ疫学調査チームによる疫学調査報告を紹介し、これから冬を迎える今シーズンの本病の発生リスクは依然として高いことをお伝えしました。

感染野鳥も各地に飛来し、神奈川県で9月25日（日）に回収された死亡野鳥から鳥インフルエンザウイルス（H5N1 亜型）が検出されたのを皮切りに、11月1日現在までに5道県・9事例の発生を確認していました。

今般10月28日（金）、岡山県倉敷市と北海道厚真町の家きん農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認され、過去最も早い発生となりました。また、香川県でも11月1日（火）に確認されています。

■岡山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221028.html>

■北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221028_14.html

■香川県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/221101.html>

以下に、疫学調査チームの「提言」を踏まえ、今シーズンにおいて生産者の皆さんがウイルス侵入対策を実施される際の注意点などをまとめました。

今一度再確認いただき、今シーズンも緊張感を絶やさず防疫体制の徹底をお願いいたします。



防疫体制徹底のお願い

【農場へのウイルス侵入防止対策】

- 多くの発生農場の近隣では、水鳥類が飛来する池や川などの水域が確認されています。
衛生管理区域内や農場の近隣に水域があれば、水抜き、忌避ネットやテープを張るなどして可能な限り水鳥類の侵入を避けてください。
- 昨シーズンは、堆肥舎内でカラスや小動物が確認された事例や死亡家きんのコンポスト処理物を農場内に放置等している事例が散見されました。野鳥や小動物の誘因とならないよう家きん舎だけでなく堆肥舎などの農場内施設についても、家きん舎同様、防鳥ネットなどで侵入防止対策をしてください。

【家きん舎へのウイルス侵入防止対策】

- ウイルスは家きん舎周辺に存在していることを前提に、飼養衛生管理を徹底し、人・車両、野鳥を含む野生動物を介した農場内及び家きん舎内へのウイルス侵入の防止や農場周辺の消毒等防疫対策の徹底をお願いします。
- 人を介したウイルスの侵入対策としては、家きん舎内用の長靴への履き替え、手指消毒と手袋の交換等を励行してください。
- 野鳥を含む野生動物を介したウイルスの侵入対策としては、日常的に家きん舎や防鳥ネットの破損等を点検し、問題が見つければ即修繕することを心がけてください。
網目は2 cm以下にすることが望ましいとされています。

【その他】

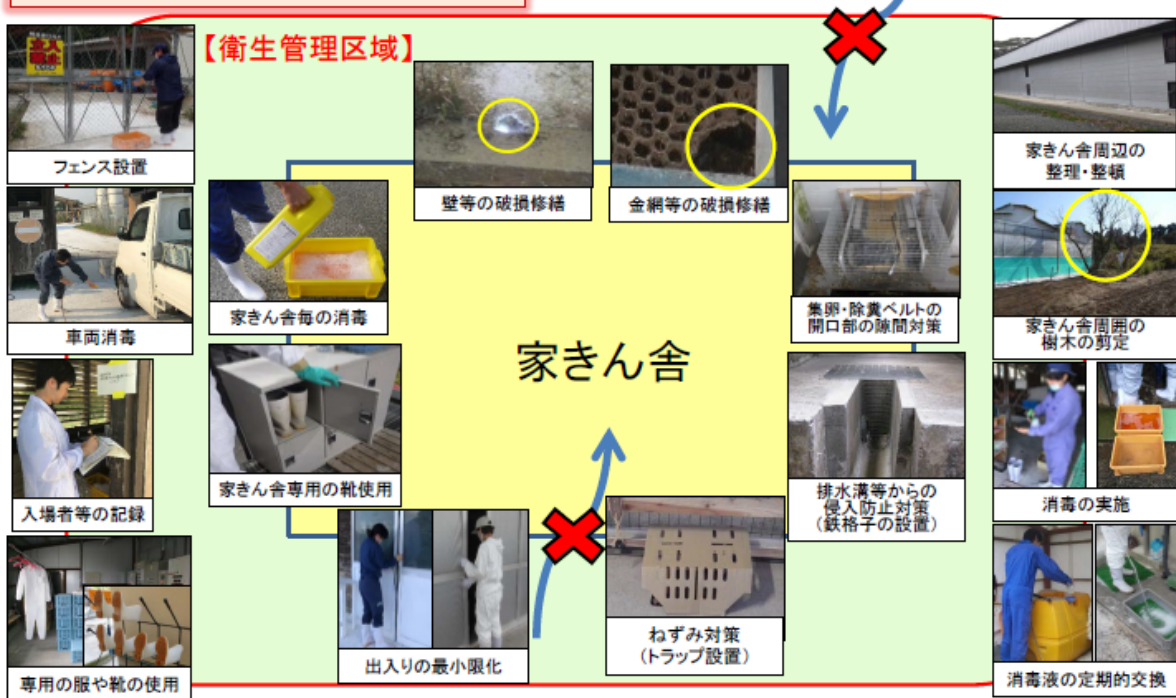
- だちょう（エミューを含む）やあひる（アイガモを含む）は、ウイルスに感染しても症状が確認されないことがあるので、これら家きんの飼養者は発生シーズンに入ったら屋内飼育に移行するなど適切な飼養管理をお願いします。
- 農場内で死亡野鳥等を見つけた場合は、死亡家きんを発見したときと同じように放置せずに適切に処理をしてください。

- [鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>



予防対策の重要ポイント



- | | |
|--|--|
| <p>① 人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底 ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用 ・上記措置の記録 | <p>② 野生動物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕 ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓 ・上記措置の定期点検 |
|--|--|

予防対策の重要ポイント



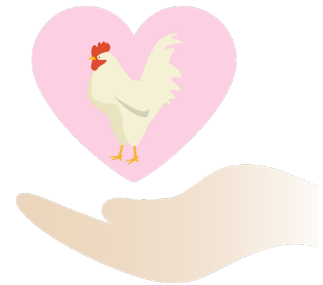
- | | | |
|--|--|---|
| <p>① 人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底 ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用 ・上記措置の記録 | <p>② 野生動物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕 ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓 ・上記措置の定期点検 | <p>周辺に水辺のある農場は
①、②の予防対策を徹底</p> <p>(リスクを減らす取組(季節を限って水を抜く、野鳥を寄せ付けないよう忌避テープを張るなど)が効果的)</p> |
|--|--|---|



令和5年 鳥インフルエンザ経営再建保険の募集について

会員の皆様が安心して採卵養鶏業に従事できるよう、鳥インフルエンザに感染した場合に経営再建を目指す採卵農家を日鶏協は全力でサポートします。

会員の皆さまへは11月下旬に関係書類一式を送付させていただく予定ですが、令和5年の補償内容等、以下概要をご案内いたします。



令和5年 鳥インフルエンザ経営再建保険

(1) 募集要領

申込期限	令和5年1月6日（金）
保険料払込期限	令和5年1月13日（金）
保険期間	令和5年2月1日（水）～令和6年1月31日（水）（1年間）
保険料	成鶏1羽あたり3.74円、育成鶏1羽あたり1.87円

(2) 補償内容

個別補償限度額	成鶏1羽あたり430円 育成鶏1羽あたり180円
年間総支払限度額	12億円支払（保険料3億以上の場合）

(3) 補償対象

経営再建を問わず、保険金を一括でお支払いします。

【ご注意】大量発生等により年間支払限度額を超える支払が想定される場合はその限りではありません。

(4) 引受保険会社

共栄火災海上保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

自然災害での補償保険

(1) 保険契約者

一般社団法人日本養鶏協会

(2) 加入対象者

鳥インフルエンザ経営再建保険に加入している（一社）日本養鶏協会の会員

(3) 加入対象農場

鳥インフルエンザ経営再建保険に加入する農場



(4) 保険期間

令和5年2月1日(水)より1年間

(5) 補償内容

下記のような災害が原因により鶏舎内の鶏死亡を補償

- ① 基本補償：火災、落雷、爆発、風災・雹災・雪災・水災
- ② オプション補償：熱波、寒波

(6) 補償金額・保険料(1羽あたり)

令和5年より成鶏の基本補償の保険料が3.30円に改訂されます。

(令和4年の成鶏の基本補償保険料は3.20円)

		成鶏	育成鶏
基本補償	補償金額	430円	180円
	保険料	3.30円	1.40円
オプション補償	補償金額	430円	180円
	保険料	12.90円	5.40円

※オプション補償には、免責歩合(加入羽数に対し0.5%)および縮小支払割合(80%)を設定。

(7) 総支払限度額(年間)

基本補償	12億円
オプション補償	12億円

(8) 加入の条件

自然災害保険制度に加入する場合の条件は、下記のとおりです。

- ① 鳥インフルエンザ経営再建保険に加入していること
- ② オプション補償に加入する場合は、基本補償への加入が必要。
(オプション補償のみの加入はできません。)

募集開始時期等詳細につきましては、(一社)日本養鶏協会までお問い合わせください。

既加入者の皆様はよくご存じのことと思いますが、本保険は日本養鶏協会会員様限定で加入することのできる団体保険となっております。年に一度のこの機会に、ぜひご加入をご検討ください。

【お問い合わせ】

業務第1部 Tel : 03-3297-5515



『いいたまごの日』記念イベントを開催（11月5日）

11月5日の『いいたまごの日』は、（一社）日本養鶏協会と（一社）日本卵業協会が協力し、毎年、記念イベントを実施しています。今年は3年ぶりに実会場での開催となります。

■イベント会場：東京栄養食糧専門学校（東京都世田谷区池尻2-23-11）

第1部 高校生が競う『たまごニコニコ料理甲子園決勝大会』

全国の高校生から1,000作品以上の応募があり、その中から全国6エリアの代表を決定。会場となる調理実習室で、決勝大会を開催します。

■エリア代表作品

【北海道・東北エリア作品】ふわふわ雲パンのサンドイッチ

【関東エリア作品】切っても！またたまごフラワー！

【北陸・東海エリア作品】彩りたまごエビシユウマイ

【近畿エリア作品】たまつくね ふわたまのせ

【中国・四国エリア作品】疲れに勝つ！卵カツ！

【九州・沖縄エリア作品】れんこんのピカタ



昨年度のグランプリ受賞
「だし巻き真薯揚げ ジャージャーのせ」

第2部 料理研究家『きじまりゅうた』さんの料理ショー

大会に参加した生徒たちに向けて、多くの番組や雑誌に出演されている料理研究家のきじまりゅうたさんが、たまごを使った素敵な料理を披露します。

これまで決勝大会に向けて頑張ってきた生徒たちの緊張感を和らげるように、楽しく進行しながら、たまごの手軽さや栄養価の高さ、そして素晴らしさを伝えます。



きじまりゅうたさん作（昨年度）
「カリカリめだま焼きのしらす丼」

※本イベントは、予定された方々のご参加によるもので、一般参加はありません。
イベントの状況については、次号の日鶏協ニュースにてご報告いたします。

【お問い合わせ】

業務第3部 Tel:03-3297-5515



「いいたまごの日 ロゴマーク」をご活用ください

(一社)日本養鶏協会では、「**いいたまごの日 (11月05日)**」を広く消費者にアピールし、鶏卵の正しい知識についての普及啓発に寄与することを目的として、ロゴマークを定めております。

皆さまに幅広くご利用いただきたいと思います。マークのご利用を希望される方は、下記ページをご参照の上、当協会までご連絡ください。



■ [「いいたまごの日 ロゴマーク」の使用について](#)

<http://www.jpa.or.jp/news/gyosei/20191011/>

■ [卵母 \(たまも\) ちゃんの部屋 \(facebook\)](#)

<https://www.facebook.com/1969512033302035/>

【お問い合わせ】

業務第3部 Tel:03-3297-5515



鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

令和4年度「公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン」について



鶏卵公正取引協議会では、公正マークの普及や鶏卵の表示に関する消費者の理解促進を図るため、毎年2回「公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン」を実施しています。

このキャンペーンは、クイズに正解すると公正取引協議会会員企業が販売している公正マーク付きたまごを毎回100名の消費者に30個プレゼントするものです。

令和4年度については以下の日程で実施する予定です。

- 第1回：10月25日（火）～11月24日（木）
- 第2回：12月20日（火）～1月19日（木）

第1回については現在実施中です。（下記からアクセスできます）

■ [公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン（第1回）](https://www.jpa.or.jp/promotion/)

<https://www.jpa.or.jp/promotion/>

クイズの問題は、昨年度同様に「賞味期限とはなんですか？」「この卵には抗生物質が入っていません表示は適切でしょうか？」などの表示と鶏卵の基礎知識を関連させた問題を出題し、消費者の理解度を確認する予定です。

[\(一社\) 日本養鶏協会のWEBサイト](https://www.jpa.or.jp/)からもアクセスできますので、お時間のある際にご覧いただければ幸いです。

なお、2回のキャンペーンの結果につきましては2月号の日鶏協ニュースでお知らせする予定ですのでご期待ください。

【お問い合わせ】

鶏卵公正取引協議会 事務局 (https://www.jpa.or.jp/keiran_root/)

E-mail : teritama@jpa.or.jp Tel : 03-3297-5516 Fax : 03-3297-5519



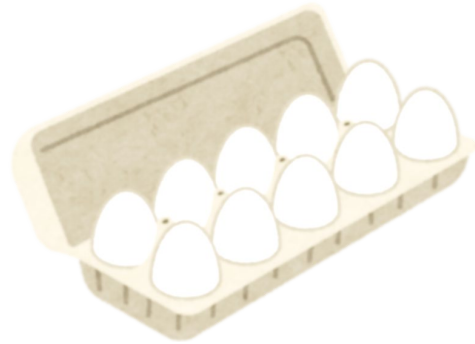
統計データ



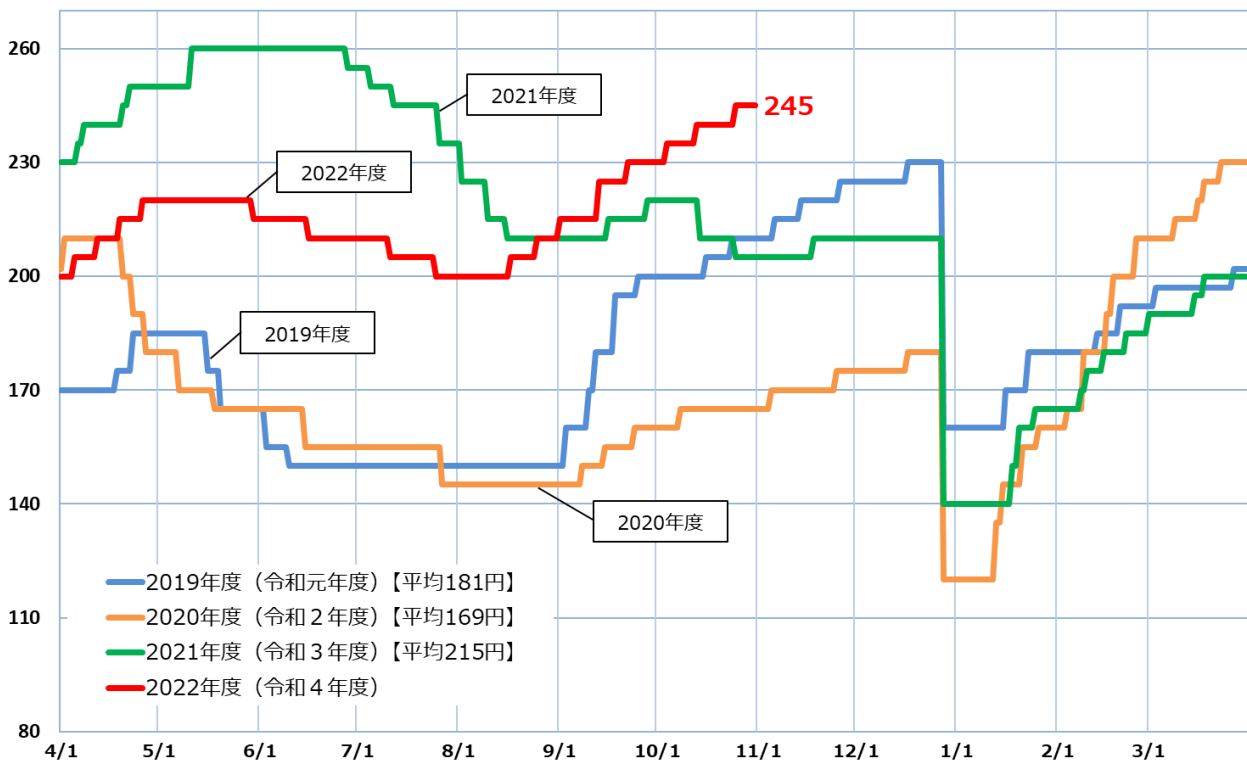
鶏卵相場動向 — 過去10年間の10月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成25年	220	243	214
平成26年	240	258	234
平成27年	250	268	244
平成28年	211	233	194
平成29年	211	243	191
平成30年	194	213	184
令和元年	204	228	194
令和2年	164	185	154
令和3年	213	240	199
令和4年	239	267	224
平均値	215	238	203

令和4年10月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値267円は、過去10年の平均値238円を29円上回り、安値224円は、過去10年の平均値203円を21円上回っています。



鶏卵相場推移 2019年度～2022年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は引き続き上昇傾向にあり、9月末の230円から10月末は245円まで上がりました。



鶏卵関係主要計数 —— 令和4年8月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
3年 9月	8,924	111.2%	467	102.1%	902	99.3%	153	213
10月	9,696	108.0%	463	94.2%	942	95.9%	164	213
11月	9,057	101.2%	485	102.8%	924	97.4%	171	207
12月	9,574	111.3%	526	99.3%	946	93.9%	178	210
4年 1月	8,535	100.2%	461	101.8%	927	97.5%	142	151
2月	8,670	97.5%	450	102.4%	895	97.3%	183	175
3月	9,248	102.3%	515	101.8%	959	101.7%	220	195
4月	8,843	91.6%	485	102.2%	917	93.8%	241	211
5月	9,302	101.3%	480	103.3%	936	93.3%	258	219
6月	8,450	83.8%	489	102.5%	862	97.6%	259	213
7月	9,018	91.4%	438	94.5%	916	101.4%	245	205
8月	8,482	104.2%	467	103.3%	877	95.8%	215	204
1年間合計 平均(%)	107,799	100.3%	5,726	100.9%	11,003	97.1%	202(平均)	201(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,482千羽（前年比104.2%）と前年比4.2%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、467千トン（前年比103.3%）と前年比3.3%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、877グラム（前年比95.8%）と前年比4.2%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の11円安を示しました。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業の事業参加者との
契約数量（トン/月当たり）

令和 元年度	167,141
令和 2年度	163,160
令和 3年度	153,391
令和 4年度	149,558

② 標準取引価格
令和4年10月 238.45円/kg

③ 補填基準価格 181円/kg
安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)
Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2022年11月2日
編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)